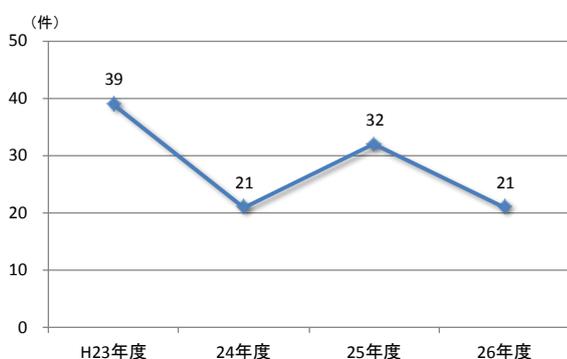


第二節 消防体制・救急救助体制の強化

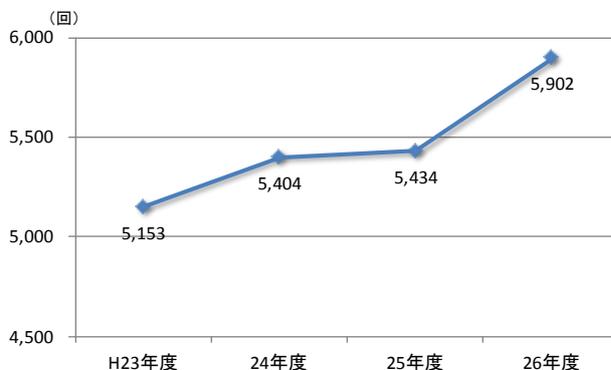
現状と課題

- 市では、4か所に消防署・分署を配置し、消防設備の点検指導、危険物の検査・指導や住宅用火災警報器の設置促進などに取り組むとともに、防災訓練や各種訓練を通じて防火・防災意識の啓発などの予防・警防活動を行い、災害や事故などから市民の生命と財産を守っています。
- また、高規格救急自動車の導入や救急救命士の養成に努めるとともに、自動体外式除細動器（AED）の市内施設等への設置を進め、救急救命講習会を開催するなど救急救助体制の強化に取り組んでいます。近年では、高齢化の進展に伴い救急出場件数が年々増加しています。
- 柏市と我孫子市における迅速かつ的確な初動体制を確保するため、柏市と我孫子市で平成22年度から消防通信指令業務を共同で管理運用し、広域的な消防・救急救助体制の強化を図っています。
- 地域防災において重要な役割を担う消防団については、平成27年4月現在で市内に21の分団が組織され、合計234名が活動しています。災害時の消防活動をはじめ、火災予防活動や警備・警戒活動、教育訓練活動など、市民の生命や財産を守るために日頃から活躍しています。また、住宅火災による被害を防ぐため、家庭で火気を取り扱う機会が多い女性による防火クラブが組織され、地域住民への防火啓発や初期消火の訓練などを行っています。しかし、いずれの組織においても担い手の確保が難しく、人員の減少が進んでいる状況です。
- 今後も、都市化に伴う高層集合住宅や多様化する災害救助などに対応できるよう、装備・体制の充実を図るとともに、消防指令センターを千葉県北西部で共同運用し、一層の広域化・共同化を図るなど、近隣自治体との連携をさらに深めていくことが求められています。地域防災の担い手として大きな役割を果たしている消防団については、団員の確保策や団の統合、機能別団員の活用などについて検討していく必要があります。また、救急需要の増加や救急救命活動の高度化などに適切に対応できるよう、引き続き高規格救急自動車の導入に伴う救急救命士の養成に努めるとともに、適正な救急要請について啓発していくことが必要です。さらに、湖北分署をはじめとした老朽化が著しい施設については、その対策を講じていく必要があります。

■火災発生件数



■救急車の出場回数



施策の展開

○消防体制の強化・充実

70201

火災や水害などの災害から市民の生命と財産を守るため、消防施設・装備を充実し、近隣自治体や関係団体と連携を図りながら消防体制の強化を図ります。

○救急救助体制の強化・充実

70202

救急救助体制を強化・充実するため、人員の養成や装備の増強などに努めるとともに、広域での連携強化を図ります。また、市民自身の救命率を高めるため、応急手当や救命講習などの講習会を充実させていきます。さらに、緊急性のない救急出動については民間の活用を促すとともに、適切な救急要請を行うようPRに努めていきます。

○消防団等の強化・充実

70203

消防団員の確保に取り組むとともに、市民の防火・防災意識を一層高めるため、消防団や女性防火クラブなどの関係機関と連携しながら、各種防火・防災訓練や住宅用火災警報器の設置促進などに努め、地域防災力の強化を図ります。

目標・指標

目標

【70201】消防体制が、火災や水害などの災害に迅速に対応できるよう強化されている。

【70202】救急救助体制が、救急救助出場に迅速に対応できるよう強化されている。

【70203】消防団や関係機関が活性化し、地域防災力が強化されている。

指標名（指標の説明など）	現況値	目標値
	平成 26 年度	平成 33 年度
災害出動覚知から現場まで 8.5 分以内に到着できた割合 70201	49.1%	100%
救急救助覚知から現場まで 8.5 分以内に到着できた割合 70202	63.6%	100%
救急救命士配置人数 70202	26 人	40 人
救命講習会年間受講者数 （目標値は、1 回あたりの受講者数 30 人×講習会年間開催数 192 回 = 5,760 人） 70202	4,766 人	5,760 人
消防団員数 70203	234 人 (27 年度)	266 人
女性防火クラブ員数 70203	63 人 (27 年度)	142 人